

2021年7月

誰かと一緒にアイスを食べる小さな平和を広げたい  
森永乳業 ピノ × V6 「なかよしで行こう。」キャンペーン  
V6 の名曲「愛なんだ」を合唱する新ミュージックビデオ  
**「愛なんだ（アイスと平和 ver.）」**  
ピノ「アイスと平和」特設サイトほかで 7月16日（金）に公開！  
<https://www.pinoice.com/lp/nakayoshi/>

森永乳業は、ひとくちアイスのロングセラーブランド「ピノ」が1976年の発売から45周年を迎えるに当たり、今年でCDデビュー26周年となるV6とタイアップした「なかよしで行こう。」キャンペーンを展開しています。このたび、7月16日（金）より、V6の大ヒット曲「愛なんだ」をみんなで合唱する新しいミュージックビデオ「愛なんだ（アイスと平和 ver.）」を、ピノ「アイスと平和」特設サイトほかにて公開します。

人とのつながりを実感することが難しくなりつつある昨今、ひとくちアイス6粒入りでシェアしやすい「ピノ」は、誰かと一緒にアイスを食べる小さな平和が広がってほしいという想いから、「アイスと平和」を今年のコミュニケーションテーマに、隣の人となかよくなることを応援しています。そのテーマの下に制作された本ミュージックビデオでは、一人一人の日常の小さななかよしと平和につながっていくことを、さまざまな場所で口ずさまれる「愛なんだ」の歌声が重なり合う様子を通して、表現しています。

## 「なかよしで行こう。」キャンペーンについて

人とのつながりを実感することが難しくなりつつある昨今、6粒入り・ひとくちサイズでシェアしやすい「ピノ」は、まずは隣の人となかよくなることを応援し、同じアイスを食べる小さな平和が広がってほしいという想いから、今年は「アイスと平和」をコミュニケーションテーマにしています。身近な人となかよくなることの積み重ねが「平和」につながるという「ピノ」の想いを体現するべく、メッセージャーとしてタグを組みたいと思ったのが、26年という長い時間、なかよしでみんなに愛されているV6でした。

V6の皆さんは2021年11月に新しいステージに進みます。私たちも最初は驚き、「なかよしで行こう。」キャンペーンについて再度考えました。その中でむしろ、V6の皆さんのなかよしは、26年続いており揺るがないものであること、これからも形を変え、きつと続くであろうことを強く認識しました。一緒になかよしを広げていることをうれしく思っています。

ピノ「アイスと平和」キャンペーン特設サイト <https://www.pinoice.com/lp/nakayoshi/>

## WEBムービー概要

---

タイトル	「愛なんだ（アイスと平和 ver.）」
出演	V6（坂本昌行、長野博、井ノ原快彦、森田剛、三宅健、岡田准一）
公開日	2021年7月16日（金）
公開 URL	<a href="https://www.pinoice.com/lp/nakayoshi/">https://www.pinoice.com/lp/nakayoshi/</a>

## ストーリー/見どころ

---

広い公園や雑然とした街の中、そして学校の教室…さまざまな場所で静かなピアノの伴奏とともに聴こえてくる、「愛なんだ」の歌詞。ひとりずつの小さな歌声が、幾重にも重なり“歌声の輪”になりV6のメンバーにも広がっていきます。

みんなの想いが込められた“声のバトン”を受け取り、その気持ちをさらに広げるように「愛なんだ」を口ずさむ坂本さん、長野さん、井ノ原さん、森田さん、三宅さん、岡田さん。V6メンバーの歌声は、ひとつの空の下で広がりを見せ、日常の小さな“なかよし”が連鎖し広がることで、大きな平和につながっていきます。

ミュージックビデオ内で口ずさまれるのは「愛なんだ」の2番の歌詞です。孤独と向き合い、人とのつながりを考えなくてはいけなくなった今、改めて新しい視点や気づきを与えてくれる内容だと考えています。

## 撮影エピソード

---

撮影当日はソロパートの収録からスタートし、V6のメンバーが一人ずつ順にカメラの前に入りました。トップバッターの長野さん、続いて坂本さんは、表情は明るくもささやくように歌う姿が印象的でした。3番手の三宅さんは、撮影が始まったところで、出番待ちの岡田さんが愛用のカメラを携えて予定より早く登場。写真好きとしても知られる岡田さんは、ムービー撮影チームの脇から三宅さんの歌唱シーンを撮影し、和気あいあいの“なかよし感”を披露。岡田さんが歌う出番が回ってくると、カメラを預かった三宅さんが岡田さんの姿を撮り始め、テンションが上がった岡田さんは大きなフリをまじえながらリノリで歌ってしまい、「すみません、リノリ過ぎました。さりげなく歌うんでしたね…（笑）」と申し訳なきように笑っていました。

メンバーの姿を写真に収めることがライフワークという岡田さんは、自身の出番が終わった後もカメラを構えて静かに撮影を続けていましたが、手持ち無沙汰になった三宅さんは、撮影スタッフが操作していた送風機を手に取り、続く井ノ原さんのソロ歌唱シーンで、送風機で風を当てるイタズラを敢行。キャッキヤとはしゃぎながら強めの風を送ってくる三宅さんを気にしながらも、平静を装って歌い続ける井ノ原さんでしたが、「なんか笑われてるのが気になるな～」と笑顔でコメント。そんな井ノ原さんも自分の出番が終わると、次に歌う森田さんを笑わせようと“イタズラ組”に転向。あまりにも仲がよすぎるV6メンバーの姿を見た監督は、クスクスと笑いながら見守っていました。

井ノ原さんと岡田さん、坂本さんと長野さん、そして森田さんと三宅さんが、それぞれ柵越しに景色を眺めながらツーショットで語り合うシーンでは、「ナチュラルな雰囲気に向かって」というオーダー。最初は少し照れくさそうな表情を見せていましたが、本番前にはそれぞれ自然にトークを始め、盛り上がっていました。全員がそろそろシーンでは、そんななかよしムードが一層強調され、楽しそうな表情で語らう姿を収める撮影は、一発でOKが出ました。